

各 位

会 社 名 ピープル株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役 桐渕真人
 (東証 JASDAQ コード 7865)
 問合せ先 IR 担当 飛田留美子
 電話 03-3862-2768

2022年1月期第2四半期累計期間 業績予想の修正に関するお知らせ

2021年6月3日付当社「2022年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました2022年1月期第2四半期連結累計期間(2021年1月21日～2021年7月20日)の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 2022年1月期 第2四半期累計期間業績予想の修正等(2021年1月21日～2021年7月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A) (2021年6月3日発表)	百万円 1,894	百万円 50	百万円 48	百万円 33	円銭 7.50
今回修正(B)	1,810	21	16	11	2.45
増減額(B-A)	△84	△29	△32	△22	
増減率	△4.4%	△58.0%	△66.7%	△66.7%	

(注) 当社は、2021年1月期第2四半期は連結業績を開示しておりますが、2022年1月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため前期第2四半期実績については記載しておりません。

2. 修正の理由について

当45期第2四半期は、国内販売において、既存の乳児・知育玩具類の売上は堅調に推移し、また計画通りに発売した新商品の売上も加算された一方で、海外販売においては、米国での消費トレンドの上昇に添って出荷頻度も増加する傾向にありましたが、外航コンテナの世界的な供給不足に伴い、第2四半期に予定していた出荷日程が次四半期へずれ込む結果となりました。これにより、当第2四半期の売上高は、当初予想を約84百万円下回る結果となりました(予想比4.4%減)。

この売上高の減少が、収益に大きく影響し、第2四半期の営業利益は当初予想50百万円から21百万円に、経常利益は当初予想48百万円から16百万円に、四半期純利益は当初予想33百万円から11百万円に、それぞれ減少となる見通しとなりました。

(注) 「2022年1月期 第2四半期決算短信(非連結)」は2021年9月2日に開示を予定しております。

以上